

# 専念寺通信

3月号 (NO.151) <http://sennenji.s296.xrea.com/>



春がやってきました。きびしい寒さのあとの突然の春一番、そして最高気温20度という暖かい日。今年は花粉や中国からの黄砂や、そして強風により巻き上がる砂塵など、交通事情にも影響の大きい気候現象

が多くありました。桜の開花もお彼岸のころ、と例年より早いようです。皆さまお変わりなくお過ごしでいらっしゃいますか。

## ☆春の彼岸

3月17日から23日までが春の彼岸です。六波羅蜜については、毎月お彼岸のつど、お話しさせていただいていますので、項目は省略し、仏教の考え方で、日頃、私たちがそれをヒントに何ができるのかについて一緒に考えてみたいと思います。まず最初に、無用の殺生をしない、ということ。子供たちに、虫や小さな生き物を面白半分て扱う場面に出合い、叱った経験があまりありませんか。自分がそのようなことをして、やはり嫌な思い出として残っていることは？戦争経験のある方はご自身にもっと重い記憶がおりの方もいらっしゃるでしょう。戦争は、いうまでもなく、無用の殺生です。その



最たるものです。国と国は相手を殺すためにつきあうのではなく、可能な限り友好的であることを目標に交渉が行なわれるべきです。この、人間の原点を考えると、「戦争をしない」と宣言した私たち

の憲法は世界に誇る、最も新しい、主義思想を超えた非常にすぐれたものだと言えます。次に人を思いやること。誰かのことが気になったら、その場で、できることをできるだけ早く実行しましょう。色々な事情で実行できない時は忘れないようにしましょう。記憶しておくだけでも充分意味があります。時には耐えましょう。こんな事態になったことを恨んだり誰かのせいにしたくなかった時、そうしても結論は変わらないなら、強い風をしのぐように、大きな波を乗り切るように、身を任せたりじっと踏んばったりして耐えましょう。時には闘いましょう。我慢する時と断固立ち向かう時を見極めましょう。闘う時は、自分を正当化せず、問題点をいっしょに考えるつもりで、でもゆずれないところは決して譲らずに。時に赦しましょう。人をゆるすだけでなく、ちょっと自分をゆるすこともしてみましょう。ベストをつくしてうまくいかない時、反省は必要ですが、あっさり自分をゆるすことも案外効果があります。エネルギーがわきます。感謝しましょう。きょうが良い天気なら、道にちょっとした花が咲いていたら、まずまず健康でいられたら、病気になっても良い医師に出会え、本気で心配してくれる人がこの世にいたら。今、私たちの国は、私たちの大勢が望んでいる方向とは反対のほうに向かっているようです。これをどうしたら変えられるでしょう。まず「理想でない方向に向かっているのでは？」と記憶しましょう。新聞の記事を挟み込みます。読んで頂けると幸いです。季節の変わり目、どうぞ皆さまご自愛ください。お彼岸でお目にかかれますのを楽しみに致しております。



平成25年3月1日 大黒